

東京福祉大学短期大学部 自己点検・評価報告書（様式1～8）正誤表

誤	正
「国税調査」（7頁）	「国勢調査」
様式1～10の記述内容について審議し、承認した。また、短大自己点検・評価報告書に記載している本学に課題について、全員で共通認識を持ち、改善計画を進めていくことの重要性について確認した。（18頁）	様式1～10の記述内容について審議し、承認した。また、短大自己点検・評価報告書に記載している本学の課題について、全員で共通認識を持ち、改善計画を進めていくことの重要性について確認した。
「人材育成の目標」（24頁）	「人材養成の目標」
6. 平成28(2016)～平成30(2018)年度自己点検・評価報告書（31頁）	6. 平成28(2016)～平成30(2018)年度東京福祉大学短期大学部自己点検・評価報告書
ゼミを単位化するのは、（37頁）	ゼミを単位化するのではなく、
6. 平成30年度自己点検評価報告書 基準Ⅱ-A-8（38頁）	6. 平成30(2018)年度東京福祉大学短期大学部自己点検・評価報告書 基準Ⅱ-A-8
「③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」（57頁）	「③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」を削除
① 保育・教育分野における様々な ニーズに対応でき、即戦力となる「こどもの専門家」としての能力。（59頁）	① 現代の新たな保育 ニーズに対応できる即戦力となるこどもの専門家としての能力。
表Ⅱ-B-④（79頁） 勉学面についてのD：30.6% 本学の授業についてのE：5.8%	表Ⅱ-B-④ 勉学面についてのD：10.6% 本学の授業についてのE：4.7%
本学は保育者を目指す学生が6～7割程度である。他は児童施設、障がい者施設、高齢者施設、病院及び一般企業と多岐に亘る。（81頁）	本学の卒業生は、保育者（保育所、幼稚園、認定こども園）への就職が6～7割程度である。その他は児童施設、障がい者施設、高齢者施設、病院及び一般企業と多岐に亘る。
6. 平成28(2016)～平成30(2018)年度自己点検・評価報告書（85頁）	6. 平成28(2016)～平成30(2018)年度東京福祉大学短期大学部自己点検・評価報告書
5-2-10 東京福祉大学短期大学部 短大総務委員会に置く倫理・不正防止専門部会規程（86頁）	5-2-10 東京福祉大学短期大学部 短大総務委員会に置く短大倫理・不正防止専門部会規程
表Ⅲ-A-② 山口恵美子 論文数：2（89頁）	表Ⅲ-A-② 山口恵美子 論文数：0

<p>校地面積は59,240㎡で、併設大学と共用であるが、短期大学設置基準に定める面積を充足している。その形態及び校舎の配置は（図Ⅲ-B-①：キャンパス概要図）に示す通りである（備付-32）。</p> <p>（図Ⅲ-B-①：キャンパス概要図）</p> <p>運動場（グラウンド）の面積は14,836㎡あり、併設大学と共用であるが、短期大学設置基準（1,500㎡）を充足している。なお、運動場は、敷地の南東部にメイングラウンドが、南西部にはサブグラウンドがあり、いずれも全面が芝生で覆われている。</p> <p>それぞれの施設・建築物の延床面積は（表Ⅲ-B-①：キャンパスの建物の概要）に示す通りである。校舎面積は、本学専用部分が1,761㎡であり、設置基準に定める面積を充足している。加えて、敷地内には併設大学との共用部分17,713㎡を有する。（100～101頁）</p>	<p>本学の校地面積は、併設大学の共用も含め、59,240㎡であり、短期大学設置基準の校地面積（1,500㎡）に定める面積を充足している。その形態及び校舎の配置は（図Ⅲ-B-①：キャンパス概要図）に示す通りである（備付-32）。</p> <p>（図Ⅲ-B-①：キャンパス概要図）</p> <p>校地面積の内、14,836㎡が運動場（グラウンド）である。運動場（グラウンド）は、敷地の南東部にメイングラウンドが、南西部にはサブグラウンドがあり、いずれも全面が芝生で覆われている。</p> <p>本学の校舎面積は（表Ⅲ-B-①：キャンパスの建物の概要）に示す通りである。校舎面積は、本学専用が1,761㎡である。敷地内には併設大学との共用の校舎が17,713㎡を有するため、短期大学設置基準の校舎面積（2,100㎡）に定める面積を充足している。</p>
<p>本学の学生が授業等で使用する情報処理学習室は2室（1号館情報処理学習室・5号館情報処理学習室Ⅱ）あり、（102頁）</p>	<p>本学の学生が授業等で使用する情報処理学習室は3室（1号館情報処理学習室・5号館情報処理学習室Ⅱ・1号館111教室）あり、</p>
<p>印刷枚数の削減を目的とした学生の印刷機利用管理を行うシステムの導入している。（104頁）</p>	<p>印刷枚数の削減を目的とした学生の印刷機利用管理を行うシステムを導入している。</p>
<p>保守業務の効率が図られ、（106頁）</p>	<p>保守業務の効率化が図られ、</p>
<p>2億6,393万円の収入超過、（109頁）</p>	<p>2億6,993万円の収入超過、</p>
<p>備付-35（110頁）</p>	<p>備付-36</p>
<p>教職員の情報リテラシーの向上。（112頁）</p>	<p>教職員の情報リテラシーの向上。</p>
<p>業務への意欲低下、（113頁）</p>	<p>業務への意欲向上、</p>
<p>5-5-5 東京福祉大学短期大学部 教授会の委員会に関する規程（p.117）</p>	<p>削除</p>
<p>椙山女子学園専門学校（現在の椙山女子学園大学）（118頁）</p>	<p>椙山女子専門学校（現在の椙山女学園大学）</p>
<p>教授会を教学組織における最高意思決定機関として位置づけ、（122～123頁）</p>	<p>教授会を学長の元に置く審議機関として位置づけ、</p>

東京福祉大学短期大学部 自己点検・評価報告書（様式10:備付資料一覧）正誤表

誤	正
3. 保育実習Ⅰ太陽保育園見学及び園での保育参観、学外活動届	3. 保育実習Ⅰ太陽保育園見学及び園の保育参観、学外活動届
6. 平成28(2016)～平成30(2018)年度短大学部自己点検 評価報告書	6. 平成28(2016)～平成30(2018)年度東京福祉大学短期大学部自己点検・評価報告書
14. 入学事前学修課題	14. 入学事前学習課題
19. 学生による授業評価評アンケート	19. 学生による授業評価票アンケート

東京福祉大学短期大学部 自己点検・評価報告書（様式10:備付資料一覧）追加資料

広報誌	45. 学内広報誌「Voyage」
教育の質保証を図るアセスメントの手法及び向上・充実のためのPDCAサイクルに関する資料	46. 「東京福祉大学短期大学部こども学科 保育・幼児教育専攻（2年制課程）：カリキュラム・マップ 2019年度」及び「東京福祉大学短期大学部こども学科 保育・幼児教育専攻（2年制課程）：カリキュラム・ツリー（履修系統図） 2019年度」
学生支援に関する資料	47. 授業出席状況報告書 学生指導報告書
教職に関する資料	48. 「全体ミーティング」概要
FD活動に関する資料	49. 履修カルテ
災害時対応に関する資料	50. 授業見学報告書
入学志願者に対する入学までの情報提供のための印刷物等	51. 災害時の対応マニュアル
入学志願者に対する入学までの情報提供のための印刷物等	52. 別冊 A0入試の募集要項 53. 別冊 指定校推薦入試募集要項